

語ろう市民の思いを! ワークショップ

～大和郡山市をワクワク10万人都市にするために～

大和郡山市民の皆さん、突然ですが市内に私たち市民が誇れる文化遺産、観光資源がどれだけあるかご存知ですか! 大和でもっとも大規模な城郭を誇る郡山城をはじめ、重要文化財など国指定のものが41件、県指定文化財が31件、市指定がなんと44件もあります。また、全国一の金魚の産地としても有名です。しかし、今も引き継がれている豊富な文化遺産、観光資源があるにもかかわらず、これらを訪れる観光客はほんのわずか。文化遺産にあふれるこの大和郡山をどうすれば多くの方々に訪ねていただけるのか、さあ私、北門勇氣とともに探索の旅に出かけましょう。



きた もん ゆう き

北門 勇氣

PROFILE

■生年月日 昭和55年12月13日(38歳)
 ■市議会経歴
 平成23年4月 大和郡山市議会 初当選
 平成27年5月～平成29年5月
 大和郡山市議会 副議長
 平成29年6月 大和郡山市長選挙 出馬



活気あふれる大和郡山市に



「民間と連携し積極的な観光振興をすべき」と語り合う奥村伸敬さん(右)と北門勇氣=奈良市下三条町のホテルフジタ奈良で

今回は、大手旅行社に42年間勤められ、今はホテルフジタ奈良を運営するエムエコーポレーション代表取締役の奥村伸敬さんと、どうすれば大和郡山市に多くの観光客が訪れ、活気あふれる街になるのか、話し合いました。

北門 現在、奈良県を訪れる観光客数は年間3000万人と言われていますが、このうち大和郡山市には約100万人に過ぎません。市内には観光資源はたくさんあるにもかかわらず、なぜ観光客が訪れないのか、どうすれば観光客を誘致することができるのでしょうか。

奥村 端的にいうと県も含め大和郡山市も広報活動が下手。観光協会任せの取り組みではダメです。郡山城の天守台も県外から訪れた人は感動しますが、宣伝告知が行き届いておらず、宝の持ち腐れになっているのではないのでしょうか。

北門 近鉄郡山駅やJR郡山駅にやっと金魚のオブジェが設置されましたが、「金魚の街」という割には駅を降りてもその雰囲気皆無に等しい。近鉄やJRも巻き込んでPRを手伝ってもらうこともできるのではないのでしょうか。

奥村 それと隣の斑鳩町や王寺町など近隣の自治体とも連携して「観光ミニバス」などを走らせ、観光振興に取り組むことも大切です。2年後の2021年は聖徳太子ご遠忌1400年にあたり、幸い大和郡山市は太子道近くにあつて滞在型の観光客誘致プランを考えていいんじゃないのでしょうか。

桜井市観光協会は積極的な観光客誘致に取り組んでいます。「もてなしのコース」を作ろうと旅行社とタイアップして地元のそれも高齢の方々も何とか街を発展させたいという意欲を持ち、知恵を絞っておられます。大和郡山市でも民間とタイアップしてユニークなチャレンジをしていくべきですね。

北門 天理市では県と協力してJR・近鉄天理駅前に駅前広場「コフン」を設け大人気です。一方、大和郡山市では近鉄郡山駅移設で県と協力することになっていますが、遅々として進まず、行政のスピードアップが強く望まれています。もし県と市の不仲が原因であれば全く市民の生活を無視した許せない行為と言わざるを得ません。

観光振興の面からいえば、市役所の建て替えも近鉄郡山駅に近い現在地でなくてもいいのではないのでしょうか。現在の市役所用地は大阪・天王寺公園の「てんしば」のように民間に開放しショップやカフェで市民が集えるスペースにしてはどうでしょうか。また、県とも相談し旧県立城内高校用地にはホテルを誘致し、城址が見える素晴らしいホテルとして活用することも考えられます。

奥村 いいと思いますね。たとえば市のメインストリートというべき柳町商店街ですが、土、日曜日には歩行者天国にして魅力ある店を誘致し、にぎわいを創出する。城下町という素晴らしい風情のある街並みがあるにもかかわらず活かし切れていないのが現状ですね。

北門 残念ながら旧遊郭の風情ある建物が残る岡町周辺や市内の中心部では空き家がどんどん増えています。行政としてはこれらの所有者と熱意をもって話し合い、活用できる手立てを早急に進めなければなりません。折角の観光資源を活かし切れていない。金魚資料館もそうです。「金魚の街」というなら市がもっと力を入れて魅力あるものにすべきではないのでしょうか。

(続)

続きはホームページにて掲載しております。QRコードからご覧ください!



活動報告 (7月22~8月21日)

駅前演説



第50回記念
全国ママさんバレーボール大会応援



学童保育連絡協議会
サマイベント(ミニ運動会)



全国金魚すくい
選手権大会参加

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ ボランティア募集

月1回の子ども食堂

お手伝いいただくにあたって

食堂開催日には調理スタッフだけでなく、席のご案内やお皿洗い、食事の前後にこどもたちの遊び相手になってくれるスタッフがいるとたいへん助かります。

お手伝いいただける方は下記のメールアドレス、電話にてお問い合わせください。

場所：西田中町ふれあいセンター
お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com
080-3843-6876(子ども食堂)



きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2
会長 米山 定男